

「第16期 IT人材活性化研究会」 参加申込書

研究会へ参加をご希望の方は下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてIT協会までご送信ください。

ホームページからお申込みいただけます。 IT協会  検索  <http://www.jiit.or.jp/>

参加費	区分	参加費
参加費 (1名様・税込み)	IT協会正会員/準会員	231,000円
	一般	275,000円

※参加費には消費税10%を加算しております。  
 ※2名以上申込み参加の場合は、追加1名につき会員176,000円(税込)、一般209,000円(税込)となります。

第16期 IT人材活性化研究会 参加申込書 開催期日：2023年9月～2024年1月(全5回)

会員区分	<input type="checkbox"/> IT協会正会員/準会員 <input type="checkbox"/> 一般	参加者人数	名
		参加費合計	円
ふりがな			
会社名			
住所	〒		
所属/役職			
申込責任者	E-Mail		
電話番号	FAX		
ご要望記入欄	Pjt No. IM 302		

※請求書は申込責任者様宛てにPDFをメールにて送付致します。それ以外をご希望の方はご要望記入欄にご記入下さい。

ご参加者①	E-Mail	
所属/役職		
ご参加者②	E-Mail	
所属/役職		

お問い合わせ・お申込先	個人情報の取扱いについて	事務局使用欄
公益社団法人企業情報化協会 TEL.03-3434-6677 FAX.03-3459-1704 〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル 3F Homepage: <a href="http://www.jiit.or.jp">http://www.jiit.or.jp</a> E-Mail: <a href="mailto:entry@jiit.or.jp">entry@jiit.or.jp</a>	公益社団法人企業情報化協会(IT協会)は、個人情報の保護に努めております。詳細は小会のプライバシーポリシーをご覧ください。 今回、ご記入いただきました皆様の個人情報は、本催し(カンファレンス・セミナー・研究会)に関する確認・連絡および各種諸手続きのため機密保護契約を締結した業務委託先(事務局協力会社および郵便物発送業者)に預託することがありますのであらかじめご承知おきください。	



第16期  
IT人材活性化研究会

元気のあるIT部門、元気の出るIT職場作りのための具体施策研究

会期 2023年9月～2024年1月 (全5回)

開催形式 第1・5回 ハイブリッド開催/第2・4回 オンライン開催  
第3回 現地視察

研究テーマ

- ・従業員エンゲージメントの向上
- ・先進的な人的資本経営
- ・DX人材の獲得
- ・DX人材の育成
- ・AI活用人材の教育
- ・社外パートナーとの協業
- ・シニア社員の自立支援

現地見学会 (和歌山県南紀白浜地区)

南紀白浜地域まるごと観光DX体験  
ならびにワーケーション推進活動の視察



写真提供：南紀白浜エアポート



写真提供：和歌山県観光連盟

第16期 IT人材活性化  
コンソーシアム  
企画委員会委員長  
東京ガス株式会社  
常務執行役員 CIO  
鳴谷 あゆみ氏



企画委員会副委員長  
株式会社日本能率協会総合研究所  
代表取締役社長  
譲原 正昭氏

コーディネーター  
明治大学  
経営学部 教授  
中西 晶氏



公益社団法人企業情報化協会

# 第16期 IT人材活性化研究会

## 開催にあたって

デジタルトランスフォーメーション（DX）時代、グローバルでの急激な環境変化に対応できる新時代をリードするIT人材の育成・確保が、企業における重要な経営課題となっております。また「Digital Disruption」と呼ばれる、ITによる創造的破壊によって、これまでの常識が大きく覆されております。そのような現状のひとつの解決策として登場したRPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の普及は、生産性の向上や業務の効率化を実現させました。そして現在、RPAにAIを連携することにより人間の代わりに判断を下すRPAの進化版と言われているIPA（インテリジェント・プロセス・オートメーション）が今後普及することで、さらなる効率化を実現できるかもしれません。またダイバーシティの推進、SDGsへの積極的な取り組みなどは、企業経営の成長戦略の中核に据えることが必須となります。ITの進展、企業内におけるIT活用の高まりにより、IT産業あるいは企業内情報システム部門の役割の重要性は日々増しております。近年SNS、IoT、AI、ビッグデータなどの積極活用による情報の収集・活用、コミュニケーション、そして経営戦略との融合や経営のスピード化などにITを活用する動きは、加速度的に増加しております。

一方で、IT人材にかかるストレスは増加する傾向にあり、部門の品質や生産性を直接低下させる原因となるメンタル不全者の増加を防ぐ施策は、早急に取り組むべき課題となっております。また、女性活躍推進に対する取り組みも徐々に広まってきてはおりますが、世界と比べても国内の女性役員比率は高いとは言えず、企業によっては管理職を目指す女性が少ないといった課題を危惧する声も聞かれます。小会では、ITに係る部門や人材に焦点を当て、メンタルバランスを保ち、活力あふれるIT職場を生み出し、元気あるIT部門とするための諸施策を検討する『IT人材活性化研究会』と共に、次世代のIT女性リーダーの育成に特化した『IT女性ネクストリーダー育成研究会』を新たに開催いたします。

## 第16期 IT人材活性化コンソーシアム企画委員一覧

研究会の具体的な研究項目・内容については、小会より委嘱されたIT人材活性化コンソーシアム企画委員会において検討を頂き、取りまとめて頂きました。

◆委員長 鴨谷あゆみ	東京ガス株式会社 常務執行役員 cio		
◆副委員長 譲原 正昭	株式会社日本能率協会総合研究所 代表取締役社長		
◆委員 橋本 匡弘	株式会社IIIエンジニアリング 取締役 経営管理部 部長	島宗 慎一	株式会社中央コンピュータシステム 人事部 人事課 課長
大山 美加子	株式会社IHエスキューブ 総務部 人事グループ 部長	高木 智史	鉄道情報システム株式会社 総務部人事課 副課長
中島 猶史	アセットマネジメントOne株式会社 人事グループ長	東郷 茂明	株式会社DXコンサルティング 常務執行役員
塙 隆宏	株式会社アドバンテスト テクノロジー開発本部 事業推進統括部 設計業務部 部長	石黒 妙子	株式会社テブコシステムズ 人財企画部長
奥脇 正登	株式会社アトラスシー 経営統括本部 経営管理部 部長	大山 裕司	株式会社デンソー ITデジタル統括部 ITデジタル戦略課
後藤 佐和子	SCSK株式会社 人材開発本部 人材開発部 副部長 兼 専門能力開発課 課長	山本 修平	東京海上日動システムズ株式会社 人事部 課長
菊池 修	NRIシステムテクノ株式会社 管理本部 副本部長	関内 直樹	東京ガスiネット株式会社 人事・総務部 部長
上浜 敏基	NECソリューションイノベータ株式会社 CHRO 兼 人財企画部長	平井 繁行	ニッセイ情報テクノロジー株式会社 NISSAY IT アカデミー 教頭 人財開発室 室長
水谷 啓	NTTコムウェア株式会社 総務人事部 HCMセンタ 担当部長	星野 誠	株式会社日本能率協会コンサルティング R&Dコンサルティング事業本部 R&D組織革新・KI推進ユニット グループ長
中村 尚史	MS&ADシステムズ株式会社 取締役執行役員 コーポレート本部長	升本 宏和	株式会社日本能率協会マネジメントセンター ラーニングDX推進部 部長
村田 哲也	株式会社オープンストリーム 取締役 働き方改革・コンプライアンス担当	大竹 秀喜	株式会社日本総合研究所 HRマネジメント部長
進 尚子	オリックス生命保険株式会社 IT品質保証部 ITHRスペシャリスト	馬場 亮子	株式会社野村総合研究所 人材開発部長
中谷 裕一	株式会社関電システムズ コーポレート本部 副本部長	油田 さなえ	パナソニックコネクト株式会社 人事総務本部 DEI推進室 室長
長谷 真紀	株式会社キューブシステム 未来人材開発センター 企画チーム 担当マネージャ	乃村 康弘	株式会社日立システムズ タレントデベロップメント部 部長
山本 直毅	キリンビジネスシステム株式会社 経営管理部人事総務グループ 部長	中村 智央	FITEC株式会社 統括管理部 統括部長代理
須斉 智孝	KDDI株式会社 情報システム本部 システム企画部 統括グループリーダー	永井 洋樹	富士通株式会社 テクノロジビジネスマネジメント本部 産学連携推進室長
小杉 佳代子	小杉佳代子社会保険労務士事務所 代表	金子 雅俊	株式会社ボイエンシー 代表取締役
中村 貴之	株式会社シーエーシー 人材戦略推進本部 人事部長 兼 人事グループ長	山下 博資	三井E&Sシステム技研株式会社 人事部 部長
穂積 学	株式会社JR東日本情報システム 総務部 次長	中西 晶	明治大学 経営学部 教授
		國本 善久	ヤマトコンタクトサービス株式会社 人事戦略部長
		中丸 博禎	楽天コミュニケーションズ株式会社 エンployee・エクスペリエンス部 部長
		千原 憲四郎	株式会社Regrit Partners コンサルティング事業部 principal
		笠間 久智	株式会社Works Human Intelligence 人事 Dept. Department Manager (社名50音順、敬称略)

## 各回の基本スケジュール

時間	内容
14:00~14:10	事務局長挨拶・コーディネーターによる課題提起
14:10~15:00	ゲストスピーカーによる講演(1)
15:00~15:10	休憩
15:10~16:00	ゲストスピーカーによる講演(2)
16:00~16:50	ディスカッション・情報交換・発表・質疑応答
16:50~17:00	コーディネーターによるまとめ

※第1回・第5回研究会終了後に参加者交流会（懇親会）を開催致します。（社会情勢により中止の可能性もございます）

※基本スケジュールは開催回によって変更される場合があります。

## 参加対象者

- ◆参加対象者◆
- ・情報システム部門管理者
- ・情報システム部門人事総務管理ご担当責任者
- ・IT系企業の人事労務ご担当者
- ・IT系職場の活性化や人材の活性化にご関心のある方等

## 各回プログラム・内容

プログラム内容は変更となる場合がございます。プログラムテーマは一部仮題を含みます。

### 第1回 9月29日(金) 従業員エンゲージメントの向上・先進的な人的資本経営

#### 『従業員エンゲージメントを高める2つのポイントとは』

様々ある人的資本において、近年注目されているのが「従業員エンゲージメント」です。企業と従業員の相思相愛度合いを表す「従業員エンゲージメント」には、売上や純利益の伸長率との相関があることがわかっています。本講演では、これまでにエンゲージメント調査を行った約10,060社、312万人の国内最大級のデータから見た、エンゲージメント向上のポイントについて、企業事例を交えてご紹介します。

**株式会社リンクアンドモチベーション**  
組織開発本部企画室 兼 インキュベーション推進室  
マネジャー **山中 麻衣氏**

#### 『SOMPOの人的資本経営』

SOMPOグループは「MYパーパス」の追求を人的資本経営の土台と位置付けています。社員一人ひとりのMYパーパスを起点とし、それらを何千何万と積み重ねていくことで、企業パーパスである「安心・安全・健康のテーマパーク」の実現を目指しているのです。本講演では、企業と個人のパーパスをどのように両立させて企業価値向上へ繋げているのか、実例を交えながら詳しくご紹介いたします。

**SOMPOホールディングス株式会社**  
人事部  
人事部長 **山本 健二氏**

### 第2回 10月26日(木) DX人材の獲得と育成

#### 『DX人材の採用手法

～ブランド力のない会社がいかに人材獲得を進めたか～』

企業のDX化が加速し、デジタル人材不足が叫ばれています。経産省の試算では2030年にはIT人材が最大79万人不足すると言われ、人材の獲得競争は一層の激しさを増しています。(株)Regrit Partnersは2017年に創業したDXコンサルティングファームですが、創業6年で250名規模に到達。ブランド力のないベンチャー企業が、いかにDX人材を獲得してきたのか、同社の考え方や手法をご紹介します。

**株式会社Regrit Partners**  
コンサルティング事業本部  
執行役員 / Managing Director **袴田 智博氏**

#### 『従来型のIT人材をステップアップさせる “デザイン思考”から学びの動機形成をする新たなリスクリング手法』

上場企業では62%が経営方針にDX推進のビジョンを掲げるようになりました。DXに求められる先端IT人材の数は不足が予想される一方で、従来型のIT人材は供給過多になっているという示唆もあります。では、従来型の技術者をどのようにリスクリングしていけば良いのでしょうか。本講演では、「デザイン思考」のアプローチを取り入れた「リスクリング」や「学びの動機形成」を具体的な人材育成の事例を通じてご紹介します。

**株式会社ギブリー**  
HRTech部門  
取締役 兼 Trackプロダクトオーナー **新田 章太氏**

### 第3回 11月17日(金)・18日(土) 現地視察

#### 『南紀白浜地域まるごと観光DX体験ならびにワーケーション推進活動の視察』

##### 現地見学会(和歌山県南紀白浜地区)

- ・顔認証を活用した南紀白浜地域まるごと観光DX体験
- ・ワーケーション推進に関する取り組みの紹介
- ・ワーケーションの聖地における進出IT企業のオフィス視察・意見交換



写真提供：南紀白浜エアポート

写真提供：和歌山県観光連盟

### 第4回 12月6日(水) AI活用人材の教育・社外パートナーとの協業

#### 『ソフトバンクの社員向けAI教育について』

生成AI領域におけるニュースで世間をにぎわしているソフトバンクですが、一部のエンジニアだけではなく社員全体の方で推進しようとしています。そのため研修では全体の底上げをまず行い、次に非エンジニアも含めて「AIを活用できる人材」を目指すためのコンテンツを提供しました。コンテンツの内容や、非エンジニアの人事担当者がどのようにそのコンテンツを用意できたのか等を、社内動向も交えてご説明いたします。

**ソフトバンク株式会社**  
人事本部  
担当課長 **福永 武志氏**

#### 『パートナーと共に取り組む組織・人材活性化』

戦略目標の達成や経営課題解決のために、自社の社員だけでなく、社外のパートナーと共に取り組むことはあらゆる業態で一般的です。人材不足が叫ばれている昨今においては、パートナーと良好な関係を築くことが事業継続やイノベーションには不可欠となっています。しかし、一方でパートナーへの仕事丸投げや、過度な依存によって、問題を抱えているケースも少なからず耳にします。本講演では、パートナーと共に組織・人材の変革に取り組む事例を踏まえ、パートナーリングの要諦をお話します。

**株式会社野村総合研究所**  
システムコンサルティング事業本部 ITマネジメントコンサルティング部  
部長 **中澤 貴史氏**

### 第5回 2024年1月16日(火) シニア社員の自立支援

#### 『ベテラン・シニア社員の自律を支援する “Career Canvas Program”』

“人生100年時代”と言われる中、長らく自社で就業してきたベテラン・シニア社員にどのように活躍いただくかについて、課題を持つ企業が多いのではと思います。ソニーにおいても同様の課題意識のもと、2017年よりベテラン・シニア社員に対するライフ・キャリア支援のプログラムをスタートし運用しています。プログラムの目的、内容、6年間の運用を経た気づきや最近の状況などについてご紹介させていただきます。

**ソニーピープルソリューションズ株式会社**  
執行役員  
**大塚 康氏**

#### 『シニアの76%が行動変容を起こした NTTコムのカリヤ自律支援の取り組み』

「キャリアは自分で作っていく時代になった」と言ったところで、ミドル・シニアの大半は今の会社で今後も働き続けていくしかない事情を抱えています。ならば、「シニアは何が起こると活性化するか？」という自社の中でキャリア自律や行動変容を起こすメカニズムを解明し、それを基にポジティブな行動変容を起こしてもらうための取り組みが必要です。NTTコムがシニアの行動を変えた10年間の軌跡を紹介いたします。

**NTTコミュニケーションズ株式会社**  
ヒューマンリソース部 人材・組織開発部門  
キャリアコンサルティング・ディレクター **浅井 公一氏**